





## 八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班（3月分）

標 題	省力化に向けたゆず樹形の改善		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年3月7日	場所	西予市野村町現地ほ場	
指導対象	東宇和柚子生産部会員等（50人）	連携機関	JAひがしうわ	
普及指導内容	○栽培管理の省力化に向け、ゆずの幼木の初期管理と大木の低樹高化について講習会を実施した。 ○定植後4～5年程度の幼木の整枝・誘引の実演と、樹高3～4mとなった主枝を切り下げ、樹形改善のモデル樹を設置した。			
結果と今後	○参加者からは「主枝候補枝はどのような枝を残すべきか」「切り下げる際はどの枝まで切り戻すべきか」などの質問があり、樹形改善とせん定技術の理解を深めた。 ○高齢化等による労働力不足に対応するため、樹形改善の推進に加え、省力機械の導入や機械が活用できる園地作りなど、栽培管理の省力化に向けた取組を強化する。			
				
			左：幼木の整枝について実演 右：樹高切り下げについて指導	

標 題	ミニトマト高設ポット栽培でDX啓発		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年3月14日	場所	西予市野村町	
指導対象	新規就農者（2人）	連携機関		
普及指導内容	○ミニトマトの高設ポット栽培を開始した新規就農者を訪問し、栽培管理や病虫害防除指導とあわせ、今後の取組意向について相談を行った。 ○当班ではこれまで、研修や施設の整備に係る事業の活用、経営開始に向けた伴走支援を行っており、将来のDX化への取組に必要な栽培機材等の導入希望などについて聞き取りした。			
結果と今後	○近隣の先進農家で行われている環境モニタリング機器の実証に関する勉強会などにも参加しており、新技術の導入やモニタリングデータの活用にも意欲的であることを確認。 ○次年度、地方局予算事業「南予儲かる農業人材育成事業」の重点指導対象者に位置付けることとしており、年収1,000万円農家の育成を目標に、濃密な支援を実施していく。			
				
			左：整備したハウス 右：高設ポットに定植した苗	